



6つのプランで今を越える。

01 教育



多様化するニーズに対応する世界に誇る教育環境の充実によって、次世代産業の創出やDX推進を担う人材育成等「子育て世帯が住みたい」岐阜県へ。障がいがあってもなくても誰もがいつでも学べる**教育立県 GIFU**を目指す。

02 子育て



未来を支えるのは「子ども」。妊娠・出産・子育て・教育と各段階における「**経済的負担の軽減**」を図る等、国・県・市町村の協力のもと子育て支援の充実を図る。

03 インフラ



自然災害から県民を守り、**水利施設・道路施設の老朽化対策**とともに、**未来を見据えた道路整備**を推進する。子どもから高齢者までが安心して移動することができる**揖斐郡**を目指すため、**広域行政による公共交通網**の提案・推進を図る。

04 農業・環境



新型コロナウイルス感染症の影響や国際情勢の変化により、燃料・農業資材・肥料等の価格が高騰し、農業を取り巻く環境は厳しさを増している状況の中でも、アフターコロナを見据えた**持続可能な農業・農村振興**を図る。また、環境に優しい**有機農業**などの推進を図る。

05 医療・介護



医療・介護・福祉施設における**新型コロナウイルス対策の支援の継続**とともに、人口減少下の岐阜県・揖斐郡においても、持続可能な**地域医療体制と介護体制**を確保するため、**地域医療介護総合確保基金**を積極的に活用する。

06 産業・雇用



国際情勢の変化に伴う、電気・ガスの高騰による影響について地元企業の皆さまから悲痛な声をいただいております。このような課題に対し、支援の拡充を国に対し要望するとともに、**人口減少下の労働力不足対策**の推進を図ります。また、**岐阜県版スターアップ・エコシステム**（仮称）の推進により新たな活力を生み出します。

県政
報告

中山間地域

地域が自立する仕組みづくりに対する支援。

砂防・治山事業の推進と共に、携帯圏外エリアを解消し、鳥獣害対策に取り組む。

岐阜県の面積の約8割が中山間地域であります。過疎化、農業の担い手不足、不在土地所有者などの課題に直面している一方、食材の宝庫であり、小さな農業が実現できる地域でもあります。今回の県政レポートでは、揖斐川町春日笹又エリアにおける課題や中山間地域のみならず、大きな課題となっている鳥獣害対策について報告させていただきます。

岐阜県の宝でもある「薬草の宝庫」として知られている伊吹山麓の揖斐川町春日笹又エリア。

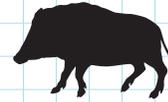
笹又エリアにおいて伝統的な農産物を栽培している方々と意見交換をさせていただきました。伊吹山麓でもあるこのエリアでは、「薬草」をはじめとする「春日豆」「春日きゅうり」等を栽培されております。しかしながら、土砂崩れ等による自然災害のみならず有害鳥獣（特に鹿）による農産物被害や森林被害によって農業・林業意欲の衰退につながっている旨のご意見をいただきました。現在、岐阜県においては復旧治山事業笹又工事を令和3年度より着手し、**令和4年12月補正においても復旧治山事業とし80,000千円の予算が計上されております。**また、伊吹山ドライブウェイの適切な道路管理等についても**令和5年1月23日**より申し入れを行う体制を整えました。今後は鳥獣害対策にも力を入れながら、「ここにしかない」産地を地域の皆さまと共に守っていきます。



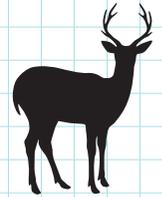
揖斐川町
春日笹又地区 農地土砂被害状況



揖斐川町
春日笹又地区上部 崩壊状況



有害鳥獣捕獲事業の課題
個体を埋める作業。
そこで



揖斐郡広域行政による鳥獣害対策の推進

揖斐郡有害鳥獣中間処理施設（仮称）をつくる。
有害鳥獣捕獲事業等により捕獲された個体の処分において、中間処理に係る作業の省略化を図ることができる施設を広域行政でつくることを調査・提言していきます。

県政
報告

監査委員

監査に当たっては、経済性、効率性及び有効性の観点を重視し、効果的な財政運営につながる指摘、提言を行うよう努めました。



●活動実績

今年度私は、岐阜県の107機関ならびに財政援助をしている11団体の監査を行いました。

